

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		知る・作る・学ぶ講座				所管	教育委員会 生涯学習課													
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度														
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	平成13年度										
		[小 柱]								[終了予定]	- 年度									
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	知る・作る・学ぶ講座実施要綱																
	事業対象	区内在住・在学の小学生～中学生(学年はクラブによって異なる)																		
	事業目的	児童生徒の休日等の自主学習を支援し、学校の日常では時間をかけて学べない内容について学習し、興味・関心を伸ばし、学習意欲を高めるとともに、創造的な感性や能力を養うことを目的とする。																		
	事業内容	<table border="0"> <tr> <td>クラブ名</td> <td>対象/定員/活動日</td> </tr> <tr> <td>①わくわく国語クラブ</td> <td>小学3年～中学3年生/50人/第2・4土曜午前</td> </tr> <tr> <td>②のびのび算数・数学クラブ</td> <td>小学4年～中学3年生/80人/第2・4土曜午前</td> </tr> <tr> <td>③どきどき歴史・文化探検隊</td> <td>小学5年～中学3年生/45人/第2・4土曜午前</td> </tr> <tr> <td>④台東科学クラブ〈たんQ〉A・B</td> <td>小学4年～中学3年生/A:30人 B:15人/A:第2・4 B:第1・3土曜午後</td> </tr> <tr> <td>⑤なぜなぜクラブ</td> <td>小学3年～小学6年生/20人/第2・4水曜午後</td> </tr> </table>								クラブ名	対象/定員/活動日	①わくわく国語クラブ	小学3年～中学3年生/50人/第2・4土曜午前	②のびのび算数・数学クラブ	小学4年～中学3年生/80人/第2・4土曜午前	③どきどき歴史・文化探検隊	小学5年～中学3年生/45人/第2・4土曜午前	④台東科学クラブ〈たんQ〉A・B	小学4年～中学3年生/A:30人 B:15人/A:第2・4 B:第1・3土曜午後	⑤なぜなぜクラブ
クラブ名	対象/定員/活動日																			
①わくわく国語クラブ	小学3年～中学3年生/50人/第2・4土曜午前																			
②のびのび算数・数学クラブ	小学4年～中学3年生/80人/第2・4土曜午前																			
③どきどき歴史・文化探検隊	小学5年～中学3年生/45人/第2・4土曜午前																			
④台東科学クラブ〈たんQ〉A・B	小学4年～中学3年生/A:30人 B:15人/A:第2・4 B:第1・3土曜午後																			
⑤なぜなぜクラブ	小学3年～小学6年生/20人/第2・4水曜午後																			
委託の有無	なし	委託内容																		
補助金の有無	なし																			
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度													
	活動指標	活動日数	(日)	108	117	120	104													
		参加人数	(人)	2,000	2,291	2,374	1,760													
	決算額 (単位:千円)					4,876	4,585	4,174												
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				3,600	3,716	2,936												
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				705	815	645												
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				4,172	3,771	3,530												
		総経費				8,477	8,302	7,111												
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				175	186	148												
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0												
一般財源(区負担額)				8,302	8,116	6,963														
前年度から改善した事項	各クラブ活動の運営委員会設置状況を見直し、最小の効率的な指導員での運営に努めた。																			
評価の視点	評価	評価の理由																		
	必要性	3	年齢の異なる集団の中で、学習意欲を高めて創造的な感性や能力を養い、興味・関心のある学習内容を提供することができるため必要である。																	
	効率性	3	外部講師に依頼せず、知識のある指導員等を活用し講座を行うなどして経費節減に努めている。																	
	手段の適切性	3	指導員による学習内容及び対象学年、定員数などクラブ状況に応じて内容の充実を図っていく。																	
	目的達成度	2	各クラブの活動日を減らしたことおよび、中学生の受講希望者が減少したことにより、25年度目標まで参加人数が達しなかった。																	
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性														
活動日数を減らしたことおよび、各クラブの受講希望者の減少があるが、各クラブの受講率においては7割程度を維持しており、異年齢の集団の中で学習意欲が高められている状況である。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了													